

はじまる！18歳からの選挙

**みんなの選挙**

赤坂区70周年

赤坂・青山  
**地域の活動**  
vol.10



**老人クラブ 青山常盤会会長 久保 一雄 さん**

老人クラブとは、高齢者の心身の健康の保持増進に資するための事業を行う団体で、赤坂・青山では6クラブが活動しています。久保さんが会長を務める青山常盤会では、58人の会員が生きがいづくりや健康づくり等の多様な社会活動を行っています。

老人クラブとは、高齢者の心身の健康の保持増進に資するための事業を行う団体で、赤坂・青山では6クラブが活動しています。久保さんが会長を務める青山常盤会では、58人の会員が生きがいづくりや健康づくり等の多様な社会活動を行っています。

はじめは老人クラブがあることも知りませんでした。関わるようになったきっかけは老人クラブの旅行です。欠員が出たので参加してくれないかと近所の方から頼まれたのです。それ以来いろいろとお手伝いをするようになり、気がつくくと会員として活動に参加するようになり、気がつくくと会長に…という流れです。もうかれこれ20年ほど関わっています。

今では会長として使命感を持って地域の老人福祉増進のために活動しています。

・青山常盤会では普段どのような活動を行っているのですか。  
いきがいを高める活動として、日本舞踊、ダンスの練習やカラオケなどを行っています。また、健康増進のための活動として体操教室、輪投げやグラウンドゴルフなどを行っています。会員の皆さんも活動を楽しみにしています。

・久保会長は港区老人クラブ連合会の総務部長も務めています。久保会長が思い描く老人クラブの将来は？  
新しい活動に積極的に挑戦する気持ちが大切です。港区老人クラブ連合会では、港区の地域性を活かし、韓国や台湾など外国の老人クラブとの交流も行っています。高齢者だからといって活動の幅を狭めるようなことはしたくありません。青山常盤会には活力溢れるメンバーがたくさんいらっしゃいます。その健康で元気な気持ちを活かしていくために、活動の幅をどんどん広げていきたいと思っています。

実は私「小笠原 謙」という名前で歌手としての活動も行っているんです。ボランティアで活動することが多く、行った先では老人クラブのPRを欠かさず行っています。

・とてもエネルギーが豊富な久保会長、最後にPRメッセージをお願いします。  
みんなが集まって活動することはとても楽しく、いきがいつくりや健康づくりなど有意義な時間を共有できます。できる範囲で構いません。一緒に活動しましょう。

最後に一つ、この4月に港区老人クラブ連合会で老人クラブの愛称を決めました。「老人クラブ」という少しイメージが良くないかなというご意見もありますので…  
新しく決まった愛称は「あじさいクラブ」です。港区の花から引用しました。今後浸透して欲しいですね。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話 03-5413-7272

赤坂警察署からのお知らせ

平成27年中、都内のオレオレ詐欺等特殊詐欺の被害約67億円

**オレオレ詐欺撃退に—**  
**自動通話録音機**  
があります

「この電話は振込め詐欺被害防止のため録音されます。」と案内があり、通話が録音されます。

この自動通話録音機の設置をご希望の方は、赤坂警察署までご連絡ください。

●お問い合わせ／警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係  
電話：03-3475-0110 (内線2162-2612)

赤坂消防署からのお知らせ

**熱中症に注意!!**

熱中症は、炎天下でのスポーツだけでなく、風通しが悪く湿度の高い室内でも発症します。

また、これからの時季、気温の急激な変化に身体がついていかず、熱中症を発症しやすくなります。規則正しい生活を心がけ、暑さに負けない体づくりをしましょう。

**対策 室内にいる時**

- 風通しを良くして熱気を溜めないようにしましょう。
- 暑かったら無理をせずにエアコンを使いましょう。
- のどの渇きを感じなくても、定期的に水分補給!
- 外出・室内関係なく、こまめに水分を取りましょう。

**対策 屋外にいる時**

- 水分補給や休憩を計画的、かつ、こまめにしましょう。
- 屋外では帽子や日傘で日光を避けましょう。
- 襟元を緩めたり、ゆったりした服を着るなど服装を工夫しましょう。

●お問い合わせ／赤坂消防署 電話：03-3478-0119

青山霊園眺望  
～人と歴史～

第28回  
小村寿太郎 (1855～1911年)  
I種口 第12号1～6側2番

**世界とつながり始めた新時代に生まれ育つ**

小村寿太郎は、安政2年9月16日(1855)に現在の宮崎県日南市、当時の日向国肥前藩に生まれました。その2年前に、ペリー提督の黒船が浦賀に来港し、翌年は日米和親条約、日露和親条約が結ばれました。長い鎖国の時代が終わり、新しい時代に生まれ育った寿太郎は、幼い頃から熱心に勉学に励み、大学南校(現在の東京大学)からハーバード大学へ留学。そこでは、特に法律と英語を熱心に学びました。

**日本と海外をつなぐ外交の架け橋となる**

帰国後、寿太郎は学びを活かすため外務省で官僚として働き始めました。しかし、上司を批判したことがきっかけで閑職へ追いやられ、さらに父の事業が失敗し小村家が破産するなど、寿太郎にとって苦しい時期が続きました。

そのような苦難を乗り越え、寿太郎は次第に日本外交にとって欠かせない存在となっていきます。外務次官、駐米公使、駐露公使、駐清公使と次々に大事な役職を経て、1901年ついに外務大臣になります。寿太郎は日本の国際的な地位を確立することを掲げ、1902年には当時世界最強と言われていたイギリスと日英同盟を締結しました。その後、1905年のポーツマス講和ではイギリスなどの協力を得て、日露戦争を終結に導きました。

**平和を願い、日本を独立国家へと導く**

さらに、寿太郎は国の発展のため幕末に結んだ不平等条約の改正に乗り出します。関税自主権の回復、治外法権の撤廃を求めて見事手腕で課題解決に貢献します。当時、日本の最大外交課題といわれた難題が解決し、1911年日本は事実上の独立国家として認められるようになりました。寿太郎は国事に尽くすことが何よりも楽しかったといっています。

**誠実と正直**

寿太郎の一生を貫いた信条は「誠実と正直」でした。「外交官は、嘘をついてはならない。外交官というものは、どうせ一生に一度は大嘘をつかなければならない。普段に嘘があるとこんな時に効き目がなくなる」と言ったそうです。寿太郎がこの信条を貫いたからこそ、今の日本があるのではないのでしょうか。

参考文献：「人間小村寿太郎」木村勝美著(光人社刊)  
「小村寿太郎 近代日本外交の体現者」片山慶隆著(中央公論新社刊)

防災士養成講座

地域の防災意識の啓発、防災力の向上に努め、災害発生時には避難誘導・救助にあたる人となる「防災士」の資格を無料で取得できる講座です。全2日の講義を受け、2日目の試験に合格すると、防災士の資格を取得できます。

**講座開催日** 9月17日(土)および9月24日(土)  
**対象者** 港区内在住で全2日の講座に参加できる方  
**定員** 50名(抽選)  
**会場** 港区役所会議室  
**申込期間** 7月21日(木)14時～8月2日(火)17時

詳しくは、7月21日発行の「広報みなと」掲載記事をご覧ください。

●お問い合わせ／防災危機管理室 防災課 地域防災支援係  
電話：03-3578-2111

防災アドバイザー派遣制度

① 防災アドバイザー派遣制度を活用して地域の防災力を向上させましょう

港区内の地域防災協議会や防災住民組織等が、防災意識の高揚を図るための講演会や防災に関する相談を行いたいときに、防災の専門家である「防災アドバイザー」を区が無償で派遣し、防災講演、訓練に関するアドバイスをを行います。

**支援対象**

- (1) 港区内の防災住民組織
- (2) 港区内の地域防災協議会
- (3) 町会
- (4) 区内の共同住宅の用途に供する(共同住宅以外の用途を併用する場合も含む)建築物の居住者、管理組合及び管理事業者が結成した団体

**派遣可能日** 平成28年12月29日(木)～平成29年1月3日(火)を除く全日  
**派遣可能時間** 9時～21時の間の最大8時間

② 防災アドバイザー派遣制度を活用して高層住宅の防災対策をしましょう

港区が防災に関する専門家である「防災アドバイザー」を無償で派遣し、防災体制づくりに必要な指導や助言、防災意識の高揚を図るための講演会や訓練に関するアドバイスや防災に関する相談を通じた高層住宅等の防災対策を支援します。

**支援対象** 港区内の地階を除く階数が6以上かつ住宅の用途に供する部分の戸数が100以上の建築物の居住者、管理組合及び管理事業者

**派遣可能日** 平成28年12月29日(木)～平成29年1月3日(火)を除く全日  
**派遣可能時間** 9時～21時の間の最大8時間

申請を希望される場合は下記へお問い合わせください。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係  
電話：03-5413-7272

高齢者向け給付金  
(年金生活者等支援臨時福祉給付金)  
の申請はお済みですか?

低所得の高齢者への支援として、「高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」を支給します。対象となる方には、4月25日(月)に申請書を発送しております。申請受付は7月29日(金)までとなっておりますので、申請がお済みでない方はお早めにご提出ください。

**対象者**

平成27年度臨時福祉給付金対象者(平成27年1月1日時点で港区に住民票があり、平成27年度分の区民税(均等割)が課税されていない方)のうち、平成28年度中に65歳以上になる方  
※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。

**支給額**

支給対象者1人につき3万円

**申請方法**

申請書に必要事項をご記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒でご返送ください。  
直接提出する場合は、芝地区総合支所に設置されている臨時受付窓口にお越しください。  
※受付時間 平日(土曜・日曜、祝日は除く)午前8時30分～午後5時(水曜日のみ午後7時まで)

給付金に乗じた振り込み詐欺や個人情報の詐取に注意してください。

●お問い合わせ／保健福祉支援部保健福祉課臨時福祉給付金担当  
電話：03-3578-2846

平成28年度「赤坂青山 美しいまち マナーのまち」キャンペーンを実施します

赤坂地区総合支所では、「赤坂青山 美しいまち マナーのまち」キャンペーンを実施し、地域の安全・環境美化活動に継続的に取り組んでいます。

地元住民、地元企業・団体の皆様と一緒に清掃活動をしていただき、飛び入り参加も大歓迎です。ぜひ、ご参加ください!

候補日	時間帯	活動場所	集合場所
9月8日(木)	(受付 9:10～) 9:30～10:30	赤坂駅周辺	赤坂B2タワー・アソックス1(赤坂通り)
9月9日(金)	(受付 8:40～) 9:00～10:00	表参道駅周辺	秋葉神社前
10月20日(木)	(受付 9:10～) 9:30～10:30	溜池山王駅周辺	赤坂スターゲートプラザ前
10月21日(金)	(受付 9:10～) 9:30～10:30	青山・丁目駅周辺	ホンダビル前

注1) キャンペーン実施日については変更する可能性があります。  
注2) 雨天の場所は中止します。当日の朝中止決定し、関係先へ連絡します。  
注3) キャンペーンのお知らせは、月末に発送している「町会・自治会へ定期便」に同封いたします。商店街・企業等はメールもしくはFAXで送付いたします。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係  
電話：03-5413-7272

赤坂地区総合支所からのお知らせ

**赤坂青山子ども中高生共育事業**

赤坂・青山子ども中高生共育事業は、地域の企業、団体、住民が、主体的に地域の子ども向け事業に取り組み組むづくりをめざし、地域で活躍する人材等を発掘・蓄積するとともに、地域の企業、団体等との協働による赤坂・青山地域在住・在学の小学生向け、中学生向け、高校生向けの講座等を実施します。講座の内容は、「驚き・感動・気づき」から「自ら考え、行動する。」へ導くものとします。それにより、講座等の参加だけでなく、子どもたちの社会参加意識を高め、赤坂・青山地域の活性化を図ります。また、地域の子ども向け事業に関わる団体等のサポートやネットワークの構築を支援し、情報共有を促進し、子どもを地域ぐるみで見守り、育てる環境を整備します。

今後の年間スケジュールは下記の通りです。イベントにより申し込み期間は異なります。場所等詳細は、共育情報局のホームページ、Facebookをご覧ください。

期日	講座名	場所
平成28年8月1日(月)～3日(水)	キッズファッションista育成講座	青山ファッションカレッジ
平成28年8月17日(水)、19日(金)	共育親子入り講座	各受入企業
平成28年10月実施予定	工芸	サンタリ-美術館
平成28年11月3日(木・祝)	共育フェスティバル	区立権町公園
平成28年11月実施予定	共育マナー講座	未定
平成28年12月実施予定	共育技術講座-若手99からプログラマー-	TEPIA先端技術館
平成29年3月12日(日)	赤坂をどり	未定

赤坂・青山 SPORTS LIFE

赤坂地区総合支所では、赤坂青山子ども中高生共育事業の一環として、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、トップアスリートと子どもたちが直接ふれあい、指導を受けることで、スポーツの楽しさを体験する機会を創出します。

併せて、スポーツを通じて身体能力を高めるだけでなく、礼儀・挨拶などの社会性、マナーやフェアプレーの精神、コミュニケーション能力を育みます。

今後の年間スケジュールは下記の通りです。イベントにより申し込み期間は異なります。場所等詳細は、共育情報局のホームページ、Facebookをご覧ください。

期日	講座名	場所
平成28年9月実施予定	第17回共育イベント(サッカー)	未定
平成28年10月実施予定	第18回共育イベント(ラグビー)	未定
平成28年11月12日(土)	第19回共育イベント(アルティメット)	未定
平成28年12月3日(土)	第20回共育イベント(野球)	青山運動場
平成29年2月実施予定	第21回共育イベント(ラグビー)	未定

●お問い合わせ／協働推進課 地区政策担当  
電話：03-5413-7013

赤坂親善大使からのお知らせ

「赤坂親善大使」は赤坂・青山のまちにぎわいと笑顔をもたらすべく誕生した赤坂地区のキャラクターよ! 地域のイベントや区の事業に参加して、地域の方とたくさん触れ合っている。夏はお祭りにお邪魔する予定よ。ぜひ私たち赤坂親善大使に会いに来てね! (アユミン)

**謝恩納涼盆踊り大会**

青山表参道商店会の方々が、地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝えるお祭りとして、青山表参道の夏の風物詩となっている。夏はあかおくん

日程：7/31(日)、8/1(月) 17:00～21:00  
場所：青山善光寺

赤坂・青山の歴史散策が楽しめる「アカオくん」

**浄土寺盆踊り大会**

今年で44回目を迎えるよ! 赤坂の夏の夜を彩る風物詩として、地域に定着している行事なんだ! (アカサカメン)

日程：7/26(火)、27(水) 18:30～21:00  
場所：浄土寺

まちを守るみんなのヒーロー「アカサカメン」

赤坂・青山シニアファッションista事業  
プロのカメラマンによる撮影を体験してみませんか?

数々の著名人を撮影しているプロカメラマンとヘアメイクが、あなたのファッションを撮影します。カジュアルでもフォーマルでもOK。モデル気分になってもっとオシャレを楽しんでみませんか? 撮影場所は、服装にあわせて赤坂・青山のスポットの中から選びます。

対象は赤坂・青山在住・在勤のシニアの方です。性別・国籍は問いません。ご夫婦のご参加や、ご家族、お知り合いの方のご推薦も大歓迎です。詳しくはお問い合わせください。

●お問い合わせ／協働推進課 地区政策担当  
電話：03-5413-7013

この情報誌は赤坂青山地域に在住する方または赤坂青山地域のために活動したいという編集委員の方々で作成しています。ご興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

**赤坂青山地域情報誌 第36号**  
平成28年(2016)7月発行

編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング  
地域情報の発信・交流分科会  
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課  
〒107-8516 港区赤坂4-18-13  
電話：03-5413-7013  
FAX：03-5413-2019 (発行部数 24,500部)

赤坂親善大使 アユミン

12100 複製権を行使しています

# みんなの選挙

## はじまる！18歳からの選挙

私たちの声を政治に届ける大切な選挙。7月の参議院議員選挙は選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられて初めて迎える国政選挙になります。今号は、選挙の「あれこれ」や普段「知らなかった」情報を赤坂・青山地域で選挙に携わる人のお話を交えてお届けします。



## あたらしい選挙を学ぼう！

今回の参議院議員選挙は、18歳以上の国民に選挙権が与えられる初の国政選挙となります。選挙権の対象年齢者の引き下げは世界的な流れであり、港区選挙管理委員会(以下、港区選管)では高校生を対象に、選挙権引き下げの背景や一票の重みについて授業をし投票を促すなど準備を進めてきました。

一般的若年層の傾向として、選挙権を得た最初の選挙では投票所に足が向きやすい一方、その後段々と投票自体に関心を示さなくなる人が多いそうです。また学校や会社の所在地が港区にあるため港区を利用する人は多いものの、港区在住者の割合は決して多くはないため、学校を卒業するとグループ化が困難なこともあり、継続的に選挙に関心を持ってもらう取り組みは難しいのが実情です。

港区選管では若者への投票への啓発として、MINATO「選挙いっぴろ?」プロジェクトを支援しています。このプロジェクトは成人式の実行委員会を担当したメンバーや20歳前後の若者が中心となり、選挙の啓発活動や選挙事務に関わる事を通じ、政治や選挙を学び、考え、若者から若者へ情報発信する活動を行っています。

Twitter [https://twitter.com/minato\\_city\\_emc](https://twitter.com/minato_city_emc)  
Facebook <https://www.facebook.com/city.minato.emc>

## 選挙あるあるQ&A

### めいすいくんに聞きました!

**Q1. 投票したことを証明できるって本当?**  
**A** せっかく投票しても、投票箱に投票用紙を入れて終わり……って一瞬の出来事で、なんだかあっけないよね。でも実は、選挙に行ったら投票したことを証明することができるんだよ。各投票所で申し出る「投票済証明書」というものが発行してもらえるんだ。証明書を発行してもらえると、選挙に参加したという記念にもなって、何だか得た気分になるよね。ぜひ選挙に行ったときには、投票済証明書をゲットしてみよう!



## 期日前投票(不在者投票)に行こう!

投票日は、1日だけじゃないんです。仕事とか特別な理由がないと期日前投票(不在者投票)ができないと思ってしまうませんか? レジャーや旅行等の理由でも大丈夫です。高齢者の方は、お天気が良くて体調がいい日が選挙日! 天候や体調に不安のある方は、期日前投票で選挙に参加しましょう。

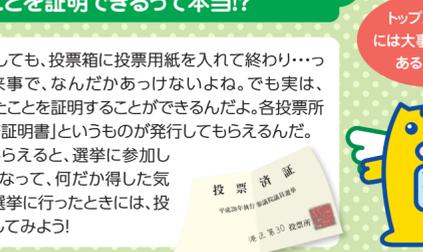
お仕事が忙しく投票日に行けそうにない方も、朝8時半から夜8時まで土曜・日曜も投票ができますので、お仕事の途中や帰りに選挙なんていうのもOK! 期日前投票は、下記のどこの投票所でも投票できます。

**参議院議員選挙期日前投票**  
●港区役所 6月23日(木)~7月9日(土)  
●赤坂・麻布・高輪・芝浦港南の各地区総合支所、台場分室 7月2日(土)~7月9日(土)  
投票時間 午前8:30~午後8:00

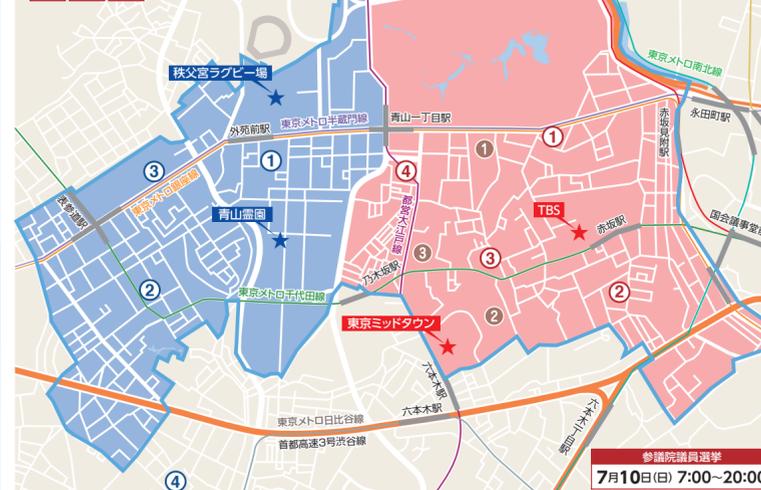
選挙管理委員会から送られて来た封筒を持って投票所にお越しください。投票用紙引換券に、期日前投票をする理由に○をつけて、住所とお名前を書いていただくだけで、投票ができます。貴重な一票を無駄にせず、あなたの声を届けましょう。

### Q1. 投票したことを証明できるって本当?

**A** せっかく投票しても、投票箱に投票用紙を入れて終わり……って一瞬の出来事で、なんだかあっけないよね。でも実は、選挙に行ったら投票したことを証明することができるんだよ。各投票所で申し出る「投票済証明書」というものが発行してもらえるんだ。証明書を発行してもらえると、選挙に参加したという記念にもなって、何だか得た気分になるよね。ぜひ選挙に行ったときには、投票済証明書をゲットしてみよう!



## 赤坂・青山の投票所

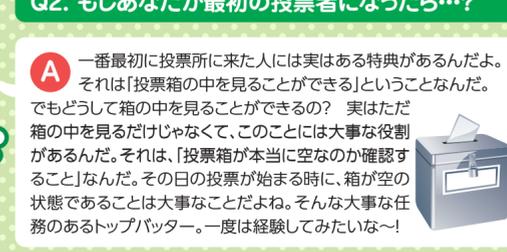


投票所	投票率	有権者数
1 青山小学校 (第34投票所) ・南青山2丁目 ・北青山1丁目 ・北青山2丁目1~8番	55.51%	2,967人
2 青南小学校 (第35投票所) ・南青山3丁目~6丁目	53.50%	6,254人
3 赤坂地区総合支所 (第30投票所) ・元赤坂1丁目~2丁目 ・赤坂5丁目4~5番 ・赤坂5丁目1~3番	53.20%	2,733人
4 赤坂子ども中高生プラザ (第31投票所) ・赤坂1丁目~2丁目 ・赤坂5丁目4~5番 ・赤坂6丁目1~13番 ・赤坂6丁目18~19番	47.48%	5,600人
1 赤坂小学校 (第32投票所) ・赤坂6丁目14~17番 ・赤坂7丁目 ・赤坂8丁目6~13番 ・赤坂9丁目	53.33%	5,194人
2 赤坂図書館 (第33投票所) ・赤坂8丁目1~5番 ・南青山1丁目	56.20%	2,534人
3 青山児童館 (第36投票所) ・北青山3丁目 ・北青山2丁目9~14番	57.37%	1,527人
4 高陵中学校 (第29投票所) ・南青山7丁目	51.19%	3,014人

\*データは平成26年12月14日執行 衆議院議員選挙(小選挙区)より

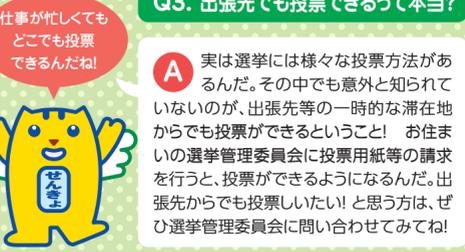
### Q2. もしあなたが最初の投票者になったら…?

**A** 一番最初に投票所に来た人には実はある特典があるんだよ。それは「投票箱の中を見ることができるといことなんだ。でもどうして箱の中を見ることができるの? 実はただ箱の中を見ただけじゃなくて、このことには大事な役割があるんだ。それは、「投票箱が本当に空なのか確認すること」なんだ。その日の投票が始まる時に、箱が空の状態であることは大事なことだよ。そんな大事な任務のあるトップバッター。一度は経験してみたいな~!



### Q3. 出張先でも投票できるって本当?

**A** 実は選挙には様々な投票方法があるんだ。中でも意外と知られていないのが、出張先等の一時的な滞在先からでも投票ができるということ! お住まいの選挙管理委員会に投票用紙等の請求を行うと、投票ができるようになるんだ。出張先からでも投票したい! と思う方は、ぜひ選挙管理委員会に問い合わせしてみよう!



## 選挙のあとに立ち回りたい おすすめスポット

- 高橋是清翁記念公園  
高橋是清翁記念公園は、池のある日本庭園の趣をもった公園です。5月下旬から7月上旬にかけて色鮮やかなあじさいが咲き誇ります。
- 氷川公園  
氷川公園は、5月頃になるとバラが見ごろとなり、近隣で働く人々の憩いの場として親しまれています。
- 乃木公園(旧乃木邸)  
春は桜が咲き、お花見に訪れる人々が多くなります。自然と歴史、自然に親しめる公園となっており、園内には彫刻やモニュメントがあります。園内にある旧乃木邸の改修工事が完了し、9月には一般公開を行います。

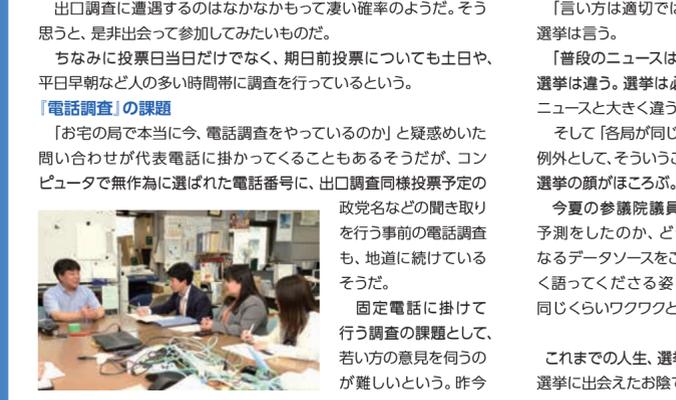
## 地元赤坂TBSの『Mr.選挙』に会いに行く!

「Mr.選挙」…そう言っても過言ではないだろう。訪ねた先のTBSテレビ選挙本部の林 武宏さんは、実に穏和で静かな口調、懇切丁寧に質問に答えてくださる紳士だ。「選挙」というものに、とにかく堅くて取付きにくいというイメージを持っていたので、選挙に携わる人だってそうだろうと決めて付けたが、林さんの物腰はそんなイメージを払拭する。「入局して30年間、大なり小なり選挙に携わってきた」という。そして今はTBSテレビ選挙本部を束ねる押しも押されぬトップ、この部署を担当して約4年だ。「そんなMr.選挙に、選挙報道の世界に見る、私達の疑問・質問をあれこれぶつけてみた。」

**何故テレビ局によって「当確」が出るタイミングが違うの?**  
選挙当日となれば各局ごぞって特番を組む。チャンネルをあちこち回しながら見ていると、放送が始まると同時に「当確」の文字が出ることも。ところが他局では静観し、当確の素振りも無いという場面によく遭遇する。そこで、この質問だ。「他局のことなんて知らないよ」といわれども仕様が無いこんな質問にも、Mr.選挙は真っ直ぐに答えてくださる。「それぞれの局が独自のデータを持って予測を立てている。そのデータの収集の仕方や、量、内容が違うこと、そして判断基準もそれぞれ独自に弾き出しているの、どのタイミングで当確を出すかが変わってくるんです。データに裏付けられた、判断です。」なるほど。じゃあ、その「データ」ってどんなものなの?  
「ニュースで投票所付近でインタビューを受けている人の姿を目にすることがあるだろう。投票を終えた一人ひとりに声を掛け、どの政党の誰に投票したのか、その理由などを尋ねていく、いわゆる出口調査だ。実際の調査は3項目程度を紙のアンケート形式で自筆で書いていただくことが多いこと。あまり項目が多いと協力を得られにくい傾向がある一方で、簡潔にズバリ聞くというスタイルのよう。しかし私自身、この出口調査というものに出くわしたことが無い。本当にやっているの?などと不謹慎なことをMr.選挙に伝えると「さすがに全ての投票所に常時張り付くことはスタッフの人数的にも出来ないの、予めピックアップしておいた投票所に時間を区切って回っています。」とのこと。

出口調査に遭遇するのはなかなかあって凄いな確率のようだ。そう思うと、是非出会うって参加してみたいものだ。ちなみに投票日当日だけでなく、期日前投票についても土日や、平日早朝など人の多い時間帯に調査を行っているという。

**「電話調査」の課題**  
「お宅の局で本当に今、電話調査をやっているのか」と疑惑めいた問い合わせが代表電話に掛かってくることもあるそうだが、コンピュータで無作為に選ばれた電話番号に、出口調査同様投票予定の政党名などの聞き取りを行う事前の電話調査も、地道に続けているそうだ。固定電話に掛けて行う調査の課題として、若い方の意見を伺うのが難しいという。昨今



では携帯電話が普及し、固定電話番号を所有していない人も多くなっている。携帯電話番号への電話調査は、試験的に検討を進めているとのこと。「ただ、[固定電話]による調査は長年続けているもので、データとしてかなり重要な要素となっている。データは時間帯や地域など【同じ条件】で、いかに[長く積み重ねて行く]かということが重要なんです。」**双眼鏡で票読み?**  
昔は双眼鏡を覗き込みながら票の束の高さや数をカウントするようなこともあったそうだが、今は機械化され、ドサッとまとめられた投票用紙が瞬時に判読されていく仕組み。しかも用紙が表でも裏でも判読してくれるので、「手元を覗いても数えられない時代になりました。」  
それでも激戦が予想される開票会場では、その会場の数が当落を左右することがあるので注目しているそうだ。これらは主立ったデータ収集の例だが、では、選挙本部はデータだけで動いているのだろうか?  
**地元ことは地元で聞く!**  
国政選挙となると全国の放送局挙げての情報収集となる。本局のシステムを使って、各局のデータを入れ込んでいくようになる。地方選挙などが二つ、三つと重なることも考えられるので普段からシステムは最低限の動作テストをさせているとのこと。データは1選挙区1000サンプルを目途に集めていこう。かなりの量だ。しかし、それでもデータだけでは計れないものがあると言う。特に地方選では、1票の影響力が大きい。自分の一言で何か影響があるのではないかと心配してアンケート自体に協力いただけないこともあるし、正しく答えていただけないこともある。その地域の情勢や雰囲気、人柄・土地柄なども関わってくるので、「データだけを見て本局で当落を判断するのではなく、あくまでも地元のことは地元局に判断材料を出してもらっています。」とのこと。**必ず結果が出るニュース**  
「言い方は適切ではないかもしれませんが…」と前置きしてMr.選挙は言う。「普段のニュースは時間が経てば答えが出るというものは無いが、選挙は違う。選挙は必ず何時間か後には結果が出る。ここが通常のニュースと大きく違う点で、【面白いところ】なんですよ。」そして「各局が同じ時刻で同じテーマを報道する。大きな災害等は例外として、そういうことは選挙以外には、まず無いですね。」とMr.選挙の顔がほころぶ。

今夏の参議院議員選挙の番組では、原点に戻り、どうしてこの予測をしたのか、どうしてこの結果を導き出したか、その根拠となるデータソースをこれでもか!というぐらい出して行きたいと力強く語ってくださる姿には、自信と誇りが満ち満ちている。そして同じくらいワクワクとした高揚感が伝わってくる。

これまでの人生、選挙を楽しみに待つことなど無かったのだが、Mr.選挙に出会えたお陰で、今後のニュースの見方が変わりそうだ。

## 港区明るい選挙推進協議会 インタビュー

港区明るい選挙推進協議会は、有権者が主権者として進んで投票に参加し、選挙が公正・公平に実施されるよう、また、有権者一人ひとりが選挙に関心を持つことで、積極的に政治参加をしようとすることを目的に、現在132名、赤坂地区では22名の委員が活躍しています。委員は、選挙権を持つ人の中から、地域の推薦によって選ばれており、鈴木さんは港区明るい選挙推進協議会会長であり、赤坂地区の代表委員も務めています。

### 選挙のときは?

立会人として投票所で、投票事務の執行に立ち会い、公正に行われているか監視をしています。また、私は第36投票所(青山児童館)の投票管理者として、投票所の事務管理・秩序維持という役割を担っています。とはいえ、投票所の神聖で厳粛な雰囲気の中で秩序を乱すような人はほとんどいません。

選挙はとても貴重な機会です。身体が不自由な高齢の方が雨の日でも雪の日でもまた寒い日でも投票にやって来ます。長く立会人をやっている、必ず投票に来る人の顔は覚えていくものです。

### 普段の啓発活動について

「みなと区民まつり」をはじめ、区内のイベントに参加して、選挙の棄権防止活動や啓発活動を行っています。先日は、アークヒルズで行われた「わんぱく相撲港区大会」で港区長選挙の啓発を行いました。啓発の目的は投票率の向上ですが、必ずしも投票率が高いことがいい事かといわれると一概にそうは言えません。例えば港区長選挙は、投票率の低さが指摘されていますが、裏を返せば歴代の区長さんが問題なく、良くやってくれているということが言えるのではないのでしょうか。

### 参議院議員選挙から選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げになります

港区明るい選挙推進協議会では、啓発活動の一環として地域の小中学校や高校等に向向き、選挙授業や模擬投票を行っています。選挙権年齢の引き下げに伴い、高校3年生が有権者となります。これまで、若い人への啓発は成人式の機会をとらえて行ってきましたが、これからは高校生を対象に選挙授業を行う機会が増えるかと思えます。現状高齢化が進み、若い人が少なくなっています。若い人には、ぜひ真剣に投票に参加してほしいと思います。

このように地域の人も選挙に関わり、啓発や公正な選挙執行等に重要な役割を担っています。港区明るい選挙推進協議会は今後も地域の活動やイベントに参加し、明るい選挙の推進を積極的に行っていきます。

## 選挙当日のスタッフの一日

選挙に行くと、入口から案内してくれる人、名簿をチェックする人、投票箱の前に座っている人など、数多くの選挙スタッフと接します。私たち有権者は、ただ時間内に投票を終えれば選挙は終了です。しかし、スタッフの方たちにとって、選挙当日はどんな一日なのでしょう。港区選挙管理委員会事務局の方に、スタッフの一日を伺ってきました。

**06:00** 選挙担当職員が区役所に集合し、41カ所ある各投票所へ投票用紙の配布を始めます。選挙担当職員は、全員が区の職員。選挙がある度に、選挙管理委員会事務局以外の部署から、決められた人数が出向して担当します。各投票所の責任者も、この時間までに各投票所で待機します。

**Point1** 投票用紙は紛失や盗難防止の為、当日の朝、配布されます。

**06:40** 各投票所に、選挙担当職員、立会人などが全員集合します。

**07:00** 投票受付開始。名簿との照合などを行う事務手続きは全て選挙担当職員が行います。投票を見守るのは、有権者から選ばれた投票管理者と3名の立会人です。

**Point2** 投票管理者と立会人とは、選挙が正しく行われているかを確認する人です。港区は大半が「港区明るい選挙推進協議会」のメンバーから選ばれています。

**20:00** 投票受付終了。投票箱を開票場に運びます。運ぶ時は投票管理者、立会人、区の職員、そして警察官の4人が立ち合います。

**Point3** 選挙ではトラブルに対応する為、見えな所に警察官が控えています。

**20:40** 集められた投票箱の鍵を開けて、開票作業を始めます。開票作業も区の職員によって行われます。投票用紙は、最初に機械にかけて読み取り、次に人の手だけで確認をするという、二重チェックの体制が採られています。この作業が公正に行われているかを、候補者が推薦した開票立会人が見守ります。

**Point4** 投票用紙はプラスチックを混ぜ込んだ特殊な紙で出来ており、半分折って投票しても、投票箱の中で自然に開くようになっています。

長い一日が終わり、翌月曜日はゆっくりお休み……と思いきや、何と区の職員は通常業務だそうです! 民主主義に基づいた正しい選挙が執行される裏側には、こうしてたくさんの方の力がある事を、改めて感じる事ができました。